

マネジメント

日本の読者へ

- ① 基本とすべきものがある、原則とすべきものがある (不易流行: 目的は不変)
- ② 状況に応じて適用していかなければならない。(変化対応)
- ③ 基本と原則に反するものは、例外なく時を経て破綻する。→原理原則を守れ!

社会と経済の健全さは、マネジメントの健全さによって左右される。(国も企業・組織も同じ) 発展途上国なる国は存在せず、マネジメントの発展途上段階にある国があるだけ。

→健全と賢いは大きく異なる!

直面する課題、問題、①意思決定に適用すべき基本と原則は何かを徹底して考える。

自らの前にある②機会と挑戦は何か?

→自らの拠り所、指針とすべき基本と原則は何か? →自己の判断軸を確立しろ!

世界中の先進社会が転換期にあるなかで、日本ほど大きな転換を迫られている国はない。

まえがき——なぜ組織が必要なのか

組織に成果をあげさせるものがマネジメント。

マネジメントを外から見る (使命・目的・役割) ……内から見てはダメ! (自分たちから)

課題にいかなる次元——何が要求されるか?

マネジメントのための組織と仕事を見る

トップマネジメントと戦略を見る

組織は3種類

- ①ゲマインシャフト
- ②ゲゼルシャフト
- ③パーソナルシャフト

ゲマインシャフト 全員共有	人格的	精神的	家族	精神的結合
	融和的		宗教	
	互惠的			
	情緒的			
ゲゼルシャフト 目標達成組織	合目的	機能的	官僚	企業
	競争的		軍隊	
	打算的			
	計数的			

## 目的

人間は一瞬たりとも希望と信頼なくして、人間らしく生きていけない。  
希望ない人生はありえない！！

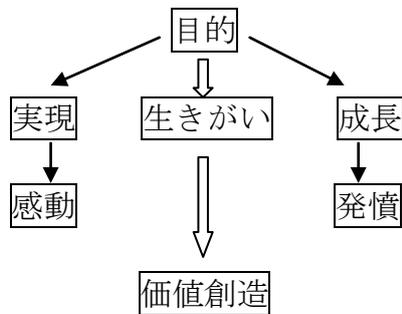
## リーダー

自分の考え、価値観、目的を言語で表現・伝える。  
旗を掲げる（裏付け）⇒理想や目的を表示。

人生最大の目的===何の目的かと説明（確信）出来る時  
目的⇒⇒⇒あらゆる聴いた人が感動する事

## 目的

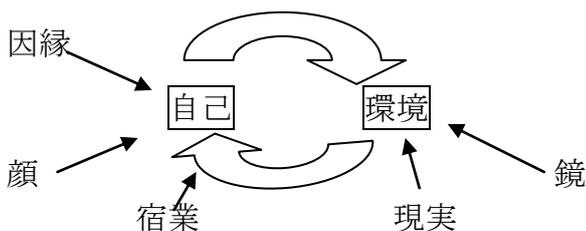
未来先取り現状打破・理想実現のゴール  
共感・感動  
全体着眼・現状打破  
全員共有



## 目標

過去の延長・目的を実現する手段  
克服・障害  
部分着手・現状肯定  
全員分有

目標①必達目標＝当面目標・先行き目標  
②高い目標ほど達成率が高くなる



## 序——新たな挑戦

先進諸国—組織社会（被用者社会）

市民＝被用者。組織を通じて働き、組織に生計の資を依存し、組織に機会を求める。

マネジメントなしに組織はない

- ①組織が機能するにはマネジメントが成果をあげなければならない。
- ②マネジメントは成果に対する責任に由来する客観的な機能。

### マネジメント・ブームの終わり

7つのコンセプト

- ①生産性向上のための科学的管理法
- ②組織構造としての連邦分権組織
- ③人を組織に適合させるための人事管理
- ④明日のためのマネジメント開発
- ⑤管理会計
- ⑥マーケティング
- ⑦長期プランニング

### 新しいニーズの出現

- ①起業家的な活動やイノベーション、新しいものの創造  
そのための組織をつくり、動かすことを学ばなければならない。  
イントレ（アントレ）プレナー、真のプロフェッショナル
- ②企業以外の組織をマネジメントし、成果をあげさせる。  
官僚組織の破壊、NPO＝成果（効果・効率）を上げる必要
- ③知識労働者の生産性向上  
肉体労働者は過去のもの。  
コストセンター⇒投資  
体系的な教育、すなわちコンセプトと理論によって働く。
- ④企業のグローバル化  
社会の願望、価値、存続そのものが、マネジメントの成果、能力、意思、価値観に依存する。